三中だより

2026年11月19日
11月号
調布市立第三中学校

「人と人とのつながりの中で」

校長　児山　友美

秋も深まり、朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。生徒たちは、２学期の期末考査が終わり、落ち着いた学校生活の中で日々の授業や仲間との関わりを通して、一歩ずつ成長を重ねています。

さて、１１月は、「ふれあい月間」です。本校では、第１週目の１週間、「あいさつ運動」を実施しました。雨の降る日もありましたが、生徒、教員だけでなく、保護者、地域の方々も一緒に校門に立っていただき、顔を合わせた人たちとあいさつを交わしました。あいさつは、相手の存在を認め、自分から心を開くことのできる大切なコミュニケーションであると思います。たった一言のあいさつでも、相手の気持ちを明るくし、その場の雰囲気を温かくする力があります。今後も学校や家庭、地域の中で、「あいさつの三中」をモットーとしている三中生たちの温かいあいさつの声が広がることを期待しています。

また、先日、杉森小学校を会場として開催された地域運動会では、本校の生徒たちがボランティアとして運営を支えました。一緒に種目に参加したり、用具の準備や進行のお手伝いを行ったりと、自分のやるべきことに責任をもって取り組む姿が見られました。そこには、普段の学校生活で見る姿とはまた違う、一段と頼もしい中学生の姿がありました。地域の方々も大変喜んでいらっしゃいました。地域の一員として誰かのために行動することは、本人にとっても大きな学びです。自分の行動が誰かの喜びにつながることを実感できたのではないでしょうか。

あいさつを交わすこと、地域のために力を尽くすこと。どちらもその根底には「人を大切にする」という共通の思いがあります。人は、人とのつながりの中で成長します。誰かに認められ、誰かを思いやり、誰かの役に立つ。その経験の積み重ねが、豊かな心を育てていくのだと思います。

これからも家庭・地域との連携を大切にしながら、生徒一人一人の豊かな心と生きる力を育んでまいります。保護者・地域の皆様には、引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

調布市教育委員会表彰への応募についてご案内します

調布市教育委員会では、学習やスポーツ、文化活動などで調布市の教育及び文化の振興発展に貢献し、かつ、その功績が顕著な方々及び他の模範とするに足る成績又は行為のあった方々の功績をたたえ、表彰を行っています。令和８年度は基準の改正を行いましたので基準を満たし、表彰に該当すると思われる生徒の保護者の方は、活動内容や成果等を確認できる資料(賞状の写しや大会の要項・パンフレット・記録等)をご準備のうえ、担任の先生にお申し出くださいますようお願いいたします。

詳細は調布市教育委員会からの「すぐーる」配信、もしくは下記二次元コードにてご確認ください。

【調布市ＨＰコンテンツ「調布市教育委員会表彰】

教育目標
自他を思いやる、心豊かな人（重点目標）
自ら学び考え、向上しようとする人
心身を鍛え、たくましく生きる人

chofu3@chofu-schools.jp

合唱コンクール

10月21日（水）に合唱コンクールを開催しました。一学期から実行委員を中心に準備をスタートし、二学期に入ると音楽科の授業を中心に学年練習や放課後練習など本格的な練習が始まりました。練習を始めた当初は自分たちが思うようなハーモニーを出すことが難しい場面も見受けられましたが、生徒同士で改善策を話し合ったり、音楽科の教諭にアドバイスをもらったり、と日を追うごとにレベルが上がっていきました。

以下、各学年の成績をお知らせします。

1年生　金賞：1組　銀賞：3組　銅賞：7組
2年生　金賞：6組　銀賞：1組　銅賞：5組
3年生　金賞：2組　銀賞：1組　銅賞：6組
8組　　優秀賞



「合唱コンクールを振り返って」　合唱コンクール実行委員長　主任教諭　中三川　千尋

今年度の合唱コンクールは大変素晴らしいものだったと多くの先生方や保護者の方々よりお褒めの言葉をいただきました。まずは感染症等も流行しているなか、多くの方々のご協力により、無事に今年度も合唱コンクールが開催できたことを嬉しく思います。

昨年度よりもさらに学級数も増えボリュームのある合唱コンクールとなりましたが、各学年の良いところがふんだんに表れていた合唱コンクールでした。

１年生は初めての合唱コンクールでしたが、１年生らしく元気で可愛らしい姿で、一生懸命に合唱をしていました。２年生は中学生として２回目の合唱コンクール。昨年度よりさらにレベルアップした、深みのある合唱を披露してくれました。

そして、３年生の合唱はどのクラスも甲乙つけがたいほどに美しかったです。合唱練習期間が始まってすぐに修学旅行があり、中々思うように練習ができませんでしたが、そんなことは感じさせないような迫力のある、まさに「魂に刻む」合唱をしてくれたのではないかと思います。

本番前の学年リハーサルの時に、初めて３年生の学年合唱の「群青」を聴いた時、子ども達の力できっと良い合唱コンクールになるだろうと確信したのを覚えています。その確信通り、本番でも圧巻の合唱を３年生は学年全員で披露してくれました。そして、今回の３年生の合唱が１・２年生たちの記憶に刻まれ、今後もさらに第三中学校の合唱が素晴らしいものになっていくのではないかと今から楽しみです。

今回、実行委員長を務めて改めて感じたことは、「子どもの成長スピードとパワーはすごい」ということでした。たった数日しかない中でも、１日１日と子どもたちは合唱を良いもの変化させていきました。それだけの力が、やはり中学生の子ども達には秘められているということだと思います。各学年の合唱コンクール実行委員の生徒たちと最後に振り返りをした時も、すべての生徒が「実行委員を経験したことで自分は成長できた」と言っていました。合唱コンクール実行委員をはじめ、今回の素晴らしい合唱コンクールを作り上げたのは第三中学校の生徒一人一人です。自分自身も、今回の合唱コンクールを作り上げた一人だということに自信をもち、今後も子どもたちのパワーが各所で輝くのを楽しみにしています。

最後になりますが、今回の合唱コンクールを行うに当たり、地域の方々や保護者の方々、多くの先生方にご協力いただきましたことに、心から感謝申し上げます。皆様のご協力により、素晴らしい合唱コンクールを開催することができました。本当にありがとうございました。次年度以降も、第三中学校の生徒の素晴らしい合唱がホールに響くことを楽しみにしています。

「学校と家庭・地域とのより良好な関係づくりに係るガイドライン」について

このガイドラインは令和8年2月に東京都教育委員会より策定され、学校と家庭・地域は、児童・生徒の健やかな成長を最優先に考え、その意向を尊重しながら連携して教育にあたることを基本方針としています。

以上を踏まえ、今後とも保護者及び地域の皆さまとよりよい関係を気づきながら、生徒の成長を支えていきたいと考えております。10月16日付け調布市教育委員会より「すぐーる」にて詳細が配信されておりますのでぜひご一読ください。